

岡山大学

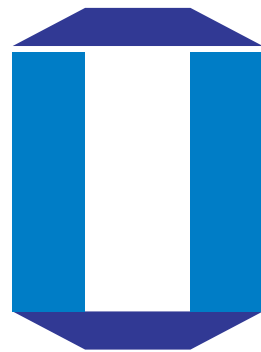
教育学部

OKAYAMA UNIVERSITY
SCHOOL OF EDUCATION

● 学校教育教員養成課程

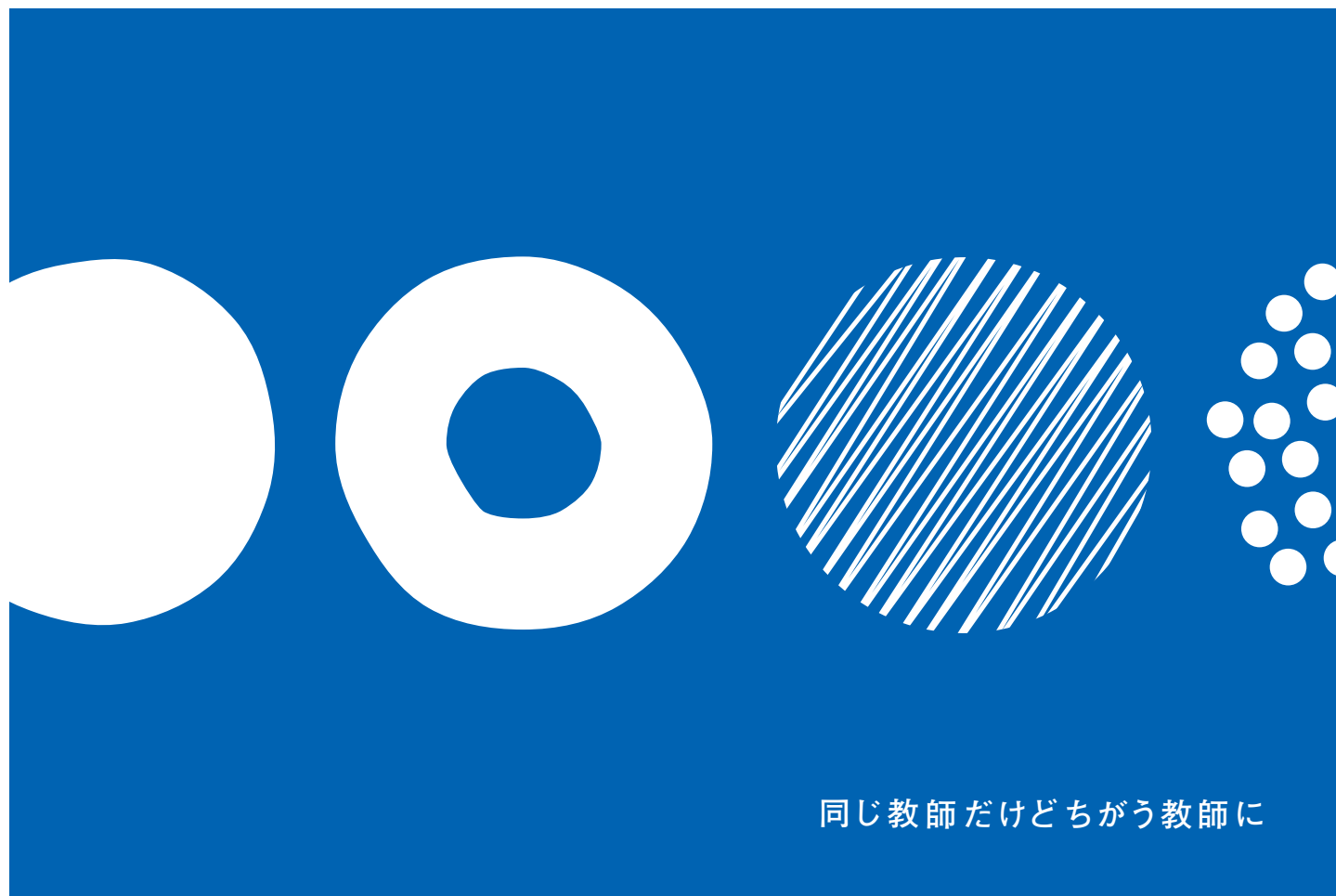
- ・ 小学校教育専攻
- ・ 中学校教育専攻
- ・ 特別支援教育専攻
- ・ 幼児教育専攻

● 養護教諭養成課程



OKAYAMA
UNIVERSITY

世界への扉を開く



同じ教師だけどちがう教師に

在校生の声

岡山大学教育学部で学ぶ、学生たちの声をお届けします。

VOICE.01

田中葵さん 養護教諭・3年次

私は、小学生の頃にお世話になった養護教諭に憧れ、養護教諭を目指すようになりました。誰からも慕われていたその先生存在により、私にとって保健室は「しんどいときに行く場所」というだけでなく、「心が落ち着く場所」へと変わりました。そして、自分も同じ道に進み、子どもたちの力になりたいと考え、養護教諭養成課程を受験することを決めました。養護教諭養成の専門課程で同じ志を持つ仲間と目標に向かって日々努力を重ねています。

本課程の魅力の一つは、教育学部の中で専門的に学べる点にあると感じています。養護教諭といえば、けがや体調不良への対応という印象が強いですが、子どもたちが心身ともに健康に成長できるよう支援・指導を行う教育的な役割も担っています。そのため、学校看護学や養護概説などの養護専門科目に加え、学部共通科目として教職論や教育心理学など教育分野の科目も幅広く履修します。養護教諭以外の教員を目指す学生と関わる機会も多く、学校組織を意識した教育全体への理解を深められるところも大きな特長です。

学ぶ中で難しさを感じることもありますが、先生方や先輩・後輩に支えられながら、前向きに取り組んでいます。同じ志を持つ仲間と共に努力する日々は、とても充実しています。ぜひ、ここで私たちと一緒に学んでみませんか。



養護教諭

VOICE.02

大森美咲さん 特別支援教育・3年次

岡山大学教育学部特別支援教育専攻は、障害のある子ども一人ひとりの実態や特性に応じた支援について、専門的かつ体系的に学ぶことができる専攻です。私は、もともと漠然と教育に携わる仕事に就きたいと考えていましたが、子ども一人ひとりと丁寧に向き合える少人数での教育こそ自分に向いているのではないかと思い、特別支援教育専攻を志望しました。支援学校の子供たちは素直で感情表現が豊かであり、その純粋さに日々心を癒やされることも、この分野の大きな魅力だと感じています。

本専攻では、2年次に附属特別支援学校での1週間の観察実習、3年次には主免実習に加えて附属小学校または中学校での基礎免実習が設けられており、さまざまな学校現場を多角的に体験することができます。講義では、教育や障害に関する基礎的な知識を学ぶだけでなく、実際の授業映像を通して、子どもの行動の背景や支援の工夫について具体的に考える力を養います。

私自身、2年次の観察実習において、子どもたちに自分の伝えたいことがうまく伝わらず、関わり方に悩んだ経験があります。しかし、その経験を通して、子どもの行動の裏にある思いや心理を丁寧に考え、試行錯誤しながら関わることの大切さを学びました。理論と実践を往還しながら自らの成長を実感できる点が、本専攻の大きな魅力であると感じています。



特別支援教育

VOICE.03

近藤茜さん 幼児教育・3年次

私は自分の幼稚園の先生と幼稚園教諭である母の姿に憧れ、幼稚園の頃から将来の夢は「幼稚園の先生」でした。幼児教育のコースがある大学を調べる中で、保育士資格と幼稚園教諭免許の両方取得でき、学業と両立しながら活動できるバスケットボール部がある岡山大学を選びました。

この幼児教育講座は人数が少なく、やわらかく温かい雰囲気の中で過ごすことができ、実習や課題など大変なことでもみんなで励まし合い助け合って乗り越えています。先輩の模擬保育に参加したり先輩方と一緒にボランティアに参加する機会があったりと縦のつながりが強いことも特徴です。また、1~4回生全員と先生方で施設に宿泊する学外合宿研修があり、私は現在合宿委員として準備・運営に携わっています。縦割り班での劇や運動会を通して、同級生だけでなく、先輩・後輩との縦のつながりが生まれます。先生方との距離が近く親身になって相談を受けてくださるという点も、この講座の少人数ならではのよさだと感じています。私は、保育士資格と幼稚園教諭免許の他に小学校教諭二種免許の取得も目指しています。授業の他にも園や子どもと関わるボランティアに参加することを通して知識を深めて興味を広げ、「子どもも自分も楽しい保育」ができる先生になるための引き出しを増やすことができ、とても充実した大学生活を送ることができています。みなさんもこの岡山大学で、素敵な仲間や先輩、先生方と一緒に充実した大学生活を送りませんか？



幼児教育

VOICE.04

藤田実紗さん 小学校教育・4年次

教師という職業には幼いころから漠然と憧れがありました。私の中で「先生」は何でもできる万能人だったからです。そんな姿に憧れて教師を目指した私ですが、ふと、目指す先はそれよりどのくらいか大学の授業を受ける中で思うようになりました。教師は何でもできるように子どもたちの前では振舞うけれど、実は裏でたくさん苦悩葛藤していて、その過程でいかに踏ん張るのか、周りの人と協力できるか。求められているのはそういう力なのだと思います。

私は小学校教員になるという夢に向かって、岡山大学教育学部の新カリキュラムに沿って学んでいます。このカリキュラムでは、1年生から関心事によってクラス分けが行われます。私は学級経営をはじめ幅広く教育学に関心があり、教育学、教育心理学を中核とする教育基盤推進クラスで学んでいます。他にも、教科教育を核とする小学校教育開発クラス、ESD・SDGs教育に加え、創造性・STEAM教育と心理データ支援教育があります。教職実践入門セミナーと実習および実習関連科目において、クラスに分かれて活動することが多いので、中高時代のようなクラス間での交流があり興味関心の合う友人がしやすいのが特徴だと思います。教育学部を考えている皆さんは、将来何らかの形で教育に関わりたいと考えられていると思います。今の私ができるアドバイスは、学生時代を思う存分楽しんでほしいということです。経験だけで教育を語ることはできないけれど、皆さんがどんな経験してきたかは教育を考えるうえで必ず生きてきます。岡山大学で皆さんと教育を創っている日が来ることを楽しみにしています。



小学校教育

VOICE.05

中谷紗也さん 中学校教育(国語教育)・4年次

岡山大学の教育学部に入学しようと思ったのは、実習が2年生からあるため、早くから経験を積めると思ったからです。また、中学校専攻では最初から教科が分かれているため、私が好きな国語に絞って勉強することができると感じました。

岡大教育の特徴は、授業中に同じ学部、学科の人たちとディスカッションをしながら自分の学びを深められるところだと思います。また、先生とのコミュニケーションをしっかり取れるところも魅力だと感じています。私自身、自分の不安な部分や悩みを先生に聞いてもらって、すぐ助けられました!

私は今、国語科で教材の研究をしながら、自分の考えていることを言語化する力を身につけることを頑張っています。一つ一つの教材や国語の面白さを自分なりに伝えることで、子供が自分の言語能力を高めながら、国語というものに興味を持ってもらえるような授業を作りたいと考えています。岡山大学の教育学部では、自分のやりたい教育が見つかり、教育に関する基礎をしっかり教えていただけます。また、他の学科の人との交流もあり、たくさんの新しい考え方に会えることもできます。もし困ったり不安に思った時は必ず仲間が助けてくれるので、安心して岡山大学で新しいステップを踏み出して欲しいです!



中学校教育

先輩からのメッセージ

教育現場で活躍する先輩達が皆さんを待っています。

VOICE.01

三井小波さん R4年度卒業 広島県立尾道特別支援学校(養護教諭)



養

護教諭

特別支援学校で勤務して3年になります。個性豊かで元気いっぱいの子どもたちと過ごす毎日は、笑顔が絶えません。岡山大学で過ごした4年間は、かけがえのない時間でした。教育実習や学校ボランティアでは、多くの素敵な養護教諭に出会いました。仕事で上手くいかなかったり悩んだりは、「あの先生ならどうするだろう」と考えて行動しています。先輩方の存在が、今でも私の背中を押してくれていると感じます。また、在学中に出会った友人は、仕事から趣味のことまで何でも話せる大切な存在です。同じ夢を持つ仲間とともに学ぶ、という貴重な経験ができて良かったと思っています。働き始めて、養護教諭ひとりでは何もできないことを実感しています。それと同時に、担任の先生方をはじめ、様々な方と子どものために何ができるかを考え、真っ直ぐ行動できることにやりがいを感じています。みなさんが新たな出会いにあふれた岡山大学で学び、多くの視点や学びを得られることを願っています。

VOICE.02

森本愛梨さん R5年度卒業 岡山県立東備支援学校(教諭)



特

別支援学校教諭

特別支援学校の教員となり、2年が経とうとしています。子どもたちがより成長していくための手立てや関わりをしたいという夢をもって始まった教員生活ですが、日々ぐんぐん成長する子どもたちに、いつも刺激と元気をもらっています。毎日過ごす中で、「この行動の背景は何か」「どうすればより伝わるか」という疑問や悩みがいつも出てきます。自分一人では考え付かないことも、周囲の先生方や子どもたち、大学時代の仲間や友人にたくさん助けていただいているおかげで、人とのつながりの大切さを強く実感しています。大学では、特別支援教育について話し合える仲間や先生方により多く出会えます。それは一過性の関係だけではなく、とても大切な財産なんだと卒業してからより感じました。話すことは大学で学んだ知識だけでなく、将来のことでも、その日のご飯のことでも、何でもいいと思います。日々の積み重ねから築いた関係が将来の心強い味方となり、子どもたちと関わることにしても大きなスキルになると思います。これから教員を志していく皆様。岡山大学は様々な価値観をもったおもしろい人がたくさんいます。様々な出会いの中で、大学生生活が楽しく素敵なものとなるよう、心から願っています。

VOICE.03

福田まみさん R6年度卒業 岡山市妹尾認定こども園(保育教諭)



保

育教諭

幼い頃からの夢であった保育教諭となり、1年が経とうとしています。4歳児の担任として、日々子どもたちと向き合う中で、毎日が驚きと発見の連続です。子どもたちの小さな成長やつぶやきに心を動かされ、その瞬間瞬間が私自身の学びにもつながっています。友達との関わりが広がる一方で、思いのぶつかり合いも増える時期です。子どもたちの葛藤や挑戦に丁寧寄り添いながら、安心できる環境を整えることの大切さを日々実感しています。忙しい日々ではありますが、「楽しい」と胸を張って言えるのは、大学時代に出会った仲間や先生方の存在があるからです。共に学び、語り合い、支え合った経験は、今も私の大きな支えになっています。岡山大学での学びは、今の私の保育の土台そのものです。大学では専門的な知識や技術だけでなく、子ども一人一人を深く理解しようとする姿勢や、多様な視点から物事を考える力を養うことができました。岡山大学で培った、人と向き合う姿勢や自分らしく働く力を保育に活かし、これから子どもたちと共に成長し続けたいと思います。これから保育者を目指す皆さんが岡山大学で素敵な出会いと経験を積み、将来たくさんのお可愛い笑顔に囲まれることを願っています。

VOICE.04

周藤江美さん R4年度卒業 松江市立大庭小学校(教諭)



小

学校教諭

小学校教員となり、3年が経ちました。採用後すぐに担任となり怒涛の日々を過ごしましたが、その中で得られるものは多く、子ども達と一緒に働く先生方に助けられながら毎日楽しく働くことができています。現在は5年生の担任をしています。重要な役割を担ったり、仲間と協力したりする中で、子どもたちは少しずつ成長し、全校を引っ張っていく立場へと変わろうとしています。その姿を間近で見守ることができるのは、担任として大きな喜びです。これまで低学年のみを担当してきた私にとって、高学年の成長の早さを実感するとともに、この大切な時期に関わっていることに幸せを感じています。在学中の講義や実習での学びは、教師として働く自分自身の土台となっています。また、一緒に努力した仲間や、素敵な先生方とすごした日々は私にとってかけがえのない財産であり、卒業した今でも心の支えとなっています。これから教員を目指すみなさんが岡山大学で素敵な出会いと経験を積み、将来たくさんのお可愛い笑顔に囲まれることを願っています。

VOICE.05

大村陸人さん R3年度卒業 岡山市立富山中学校(教諭)



中

学校教諭

私は、岡山大学教育学部で4年間、そして岡山大学教職大学院で2年間、計6年間岡山大学で過ごしました。卒業して2年目、中学校2年生の担任をしています。毎日押し寄せてくる業務の中で、少しでも良い授業ができればという思いで授業を作っています。そうやって作った授業でも、全然うまくいかないときもあり、悔しさと生徒への申し訳なさが増えるときがあります。そんな苦しいとき、岡山大学で学んだ経験が自分を支えてくれていると感じています。大学入試の際に、高校の先生に「大学にはいるとは、努力の対価として、大学名が書かれた見えないコートを着るといことだ」と言われました。少しでも良い名前が入ったコートを着るために岡山大学へ入ったのですが、6年間を過ごした今、自分はコートよりも良いものをもらったなと思います。それが「目」です。私は、自分の授業づくりに困ったとき、生徒が授業の中でつまづくと、岡山大学で育ててもらった「研究の目」を通してものを見ることができるようになりました。私の「目」を育ててくださったのは、岡山大学で熱心に研究に取り組まれている先生方とそこで出会った最高の友人たちです。そんな先生方や友人たちとの出会いは私の人生の大きな財産となっています。みなさんも岡山大学で人生の宝物を見つけていただけたらと思います。応援しております。

※所属およびメッセージの内容は、令和7年度末のものであります。

学部紹介

岡山大学教育学部は、学校教育教員養成課程と養護教諭養成課程の2つの課程で構成されています。

教員を目指すなら

学校教育教員養成課程

学校等の教員を養成する課程です。「小学校教育専攻」「中学校教育専攻」「特別支援教育専攻」「幼児教育専攻」のいずれかに所属して、専門的知識と指導方法を学びます。

また、学校での児童・生徒の実態を理解し、指導方法や実践力を身につけるため、附属学校・園で教育実習を行います。最初の2年間は観察・参加型の実習を、3年次2・3学期で教壇に立つ実習を行います。4年次にも副免許用の教育実習や、公立学校で実践的経験を積む「教職実践インターンシップ」を用意しています。

卒業時には、所属に応じて小学校教諭、中学校教諭(国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、技術、家庭、英語)、特別支援学校教諭、幼稚園教諭の教員免許状や保育士の資格などが取得できます。

01 小学校教育専攻(17プログラム(地域教育*を含む))

小学校教員を目指す学生が所属します。小学校教員は、児童の教育や学習過程に関する理解の他に、10教科をすべて教える能力が求められます。そのため、教育理論や指導法、各教科の専門的な内容を学ぶための授業が開講されています。さらに、自信をもって複数科目の指導ができるよう、確かな授業研究推進力も身につけていきます。

学生は多彩な17のプログラム(ESD・SDGs教育、創造性・STEAM教育、心理データ支援教育、教育学、教育心理学、幼児教育学、特別支援教育学、地域教育、国語教育、算数教育、社会科教育、理科教育、英語教育、音楽教育、図画工作科教育、体育科教育、家庭科教育)のいずれかを選択し履修します。ESDなどの先端科学教育領域に加え、教育学、教育心理学のプログラムでは、教育の本質や目標、学習過程や児童の発達などを専門的に学びます。また、国語教育など教科のプログラムでは、各教科の内容をそれぞれ専門的に学びます。

02 中学校教育専攻(11コース(地域教育*を含む))

中学校教員を目指す学生が所属します。学生は、教科教育等を専門的に学ぶために、11コース(国語教育、社会科教育、数学教育、理科教育、音楽教育、美術教育、保健体育教育、技術・工業教育、家政教育、英語教育、地域教育)のいずれかに所属します。

この専攻では、各教科に関する専門的知識・技能を修得し、文化・技術の継承と創造力の育成を目指します。関連して、生徒に必要な学力を身につけさせるための効果的な教材や指導方法を研究し、実践することを学びます。

03 特別支援教育専攻

特別支援教育の専門的知識と技能を備えた教員を養成します。

特別支援教育に関する教育学、心理・生理・病理学、実践学といった幅広い領域の専門知識を系統的に学ぶためのカリキュラムを用意しています。

特別支援学校に勤務するための特別支援学校教諭免許状は、基礎資格として小学校教諭免許状か、あるいは中学校教諭免許状が必要です。このため教育実習は、観察・参加型の実習を経て、3年次2・3学期に附属小または中学校で4週間、附属特別支援学校で3週間行うことになっています。

特別支援教育専攻では、全5領域(視覚障害者、聴覚障害者、知的障害者、肢体不自由者及び病弱者に関する教育)の特別支援学校教諭免許状を取得できるカリキュラムが用意されています。

04 幼児教育専攻

幼児教育に関する専門知識・技術だけでなく、家庭教育、保育所保育や小学校低学年の教育に精通した教員を養成します。

幼児教育専攻では、幼児教育の意義・歴史・制度の学習を通じて幼児教育の基本理念を学び、講義と実習を通じて幼児の世界に対する理解を深めます。そして、幼児の成長や発達の支援に望ましい経験をし、指導方法を修得します。

本専攻では、幼稚園教諭一種免許状が取得できるほかに、保育士養成も行っていますので、保育士資格の取得が可能です。

養護教諭を目指すなら

養護教諭養成課程(地域教育を含む)

幼稚園ならびに小・中・高等学校で、児童・生徒の心とからだの保健管理と健康教育を行う養護教諭を養成する課程です。

養護教諭は、保健室で救急処置をするだけでなく、健康診断・健康相談・保健指導など、成長期にある児童・生徒の心とからだの悩みなどに専門的に関わる大切な役割を担います。また、将来も健康な生活を送れるように指導する健康教育を担当します。

「養護専門科目」で、心とからだの仕組み、子どもの発達、生活・環境・社会と健康の関係、健康の成立と支援方法などの基礎を学びます。養護概説、健康相談活動、学校救急処置、保健科教育など養護活動の実践的な内容も学びます。また教育職員として必要な「教職専門科目」を学びます。

養護実習は、2年次に附属学校・園で、観察・参加実習を行います。3年次には附属学校・園や協力校で本格的に実習を行い、4年次には「教職実践インターンシップ」も行われます。大学で学んだ理論を養護実習で実践に結びつけるだけでなく、自ら課題を発見・解決し、学び成長する力を育成することを目的としています。

卒業時には、養護教諭一種免許状が取得できます。

なお本課程は、国立大学法人で中・四国地方唯一の養護教諭養成課程です。

*地域教育

岡山県北地域教育プログラム選抜によって選ばれた学生が所属します。学校教育教員養成課程の「小学校教育専攻」「中学校教育専攻」と養護教諭養成課程の中に設置されています。学校教育教員養成課程では、小・中学校教諭の両方の教員免許状の取得、あるいは中学校教諭の複数の教科での免許状取得を目指します。1年次から岡山県北地域での実習を開始し、2年次からは特定地域を「ホームタウン」に定めた実習や演習を卒業まで継続することで、地域や学校の課題を発見・解決するための資質・能力を高めます。

*技術・工業教育(岡山県工業科教員養成プログラム)

「岡山県工業科教員養成プログラム選抜」で選ばれた高等学校の専門教育(工業)を主とする学科で学んだ学生が在籍しています。岡山県工業科で教職に就くため母校の実習にも参加予定で、工業科に適した資質・能力を養成中です。

教員免許状の取得

教育学部で取得できる教員免許状の種類は多く、異なる教員免許状の取得を目指す学生が共に学び合うことができるのは、魅力の一つです。

取得可能な教員免許状等

学校教育教員養成課程
・小学校教諭一種免許状
・中学校教諭一種免許状 (国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、技術、家庭、英語)
・高等学校教諭一種免許状 (国語、地理歴史、公民、数学、理科、音楽、美術、工芸、保健体育、家庭、工業、英語)
・特別支援学校教諭一種免許状 (視覚障害者、聴覚障害者、知的障害者、肢体不自由者、病弱者)
・幼稚園教諭一種免許状
養護教諭養成課程
・養護教諭一種免許状
・中学校教諭一種免許状(保健)
・高等学校教諭一種免許状(保健)
資格
・学校図書館司書教諭
・保育士(幼児教育専攻のみ)

入学後に決定される配属先や授業時間割上の制約により、希望する免許状のすべてを卒業時に取得できるとは限りません。

同じ教師だけど ちがう教師になるために。

次世代の 教員養成に向けた 新たなカリキュラム。

コンセプトは、「多様性に対応できる授業に強い教員を育てる」。学習者一人ひとりに寄り添い、学びの場を作ることができる教員を、4年間の体系的なカリキュラムの中で育てます。カリキュラムの中で、私たちが特に力を入れているのが、学習者の視点から学びをデザインできる力の養成です。岡山大学の新しいカリキュラムでの学びを是非体験してください。

教員紹介

教育学部はミニ総合大学。多分野にわたるいろいろな授業を個性豊かな教員が担当しています。



松浦 藍

〈美術教育〉

私たちは毎日「感じ方」を新しく変えています。その人だから感じとれたことは、その人にしか生み出せない価値に変わり、新しい視点となります。新しい視点で

日常を見ると、昨日まで気にも留めなかった道端の小石は、「地球の欠片」や、「遊び道具」とも言えるし、「好きな人と話すきっかけ」にもなります。図画工作や美術の授業では、価値なんてないと思ったものを、子どもたちの力で素敵な「何か」につくり変える創造的な営みがなされています。では、子どもたちが、この世界に生み出された全ての価値を慈しみ、より豊かな社会を創れるようになるには、どんな先生になったらいいのでしょうか。皆さんと一緒に考えていけることを楽しみにしています。

撮影：岡山大学写真部 酒井(教育学部)、木下(工学部)、奥(農学部)



馬場 訓子

〈幼児教育〉

「保育者」は、保育のプロとして子どもの人間形成に大きく関与しながら、子どもの成長を身近に感じることで、とても幸せでやりがいのあるお仕事で

す。子どもファーストの保育の実現には、保育に関する知識や技術だけでなく、子どもの目線で子どものことが「わかる」感性が必要です。みなさんには、学生時代に多くの経験を通して、その感性を大切に育み、磨いてほしいと考えます。子どもへの関わりや保育環境の構成には、その全てに保育者の願いが込められた意図があります。保育に教科書はありません。だからこそおもしろい！一人一人の子どもがその子らしく成長できる、あなたがあならしい保育者になれる、そんな保育のつくり方を一緒に学んでいきましょう。



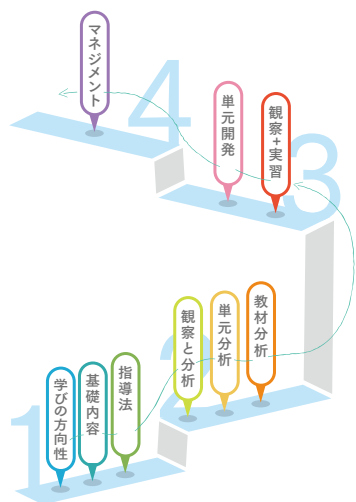
問い、実践、感動、 学びの基本をベースに。

何のために、何を学びたいかという学習者の思いは様々です。それを踏まえて、今の教育を見つめなおし、学びの新しい価値を生み出すことができる、そんな教員を育てたいと思っています。知識を子どもたちに伝えるだけの単なるメッセンジャーではなく、教育実践を通して子供たちとともに成長し続けることができる先生、それが私たちの理想です。

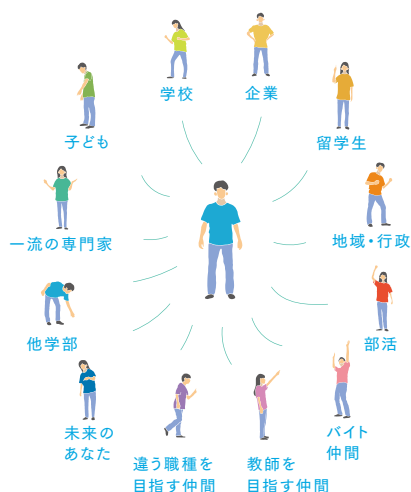
豊富な実践の機会で 仲間と経験値を蓄える。

先生の仕事で大切なことは、課題解決に向けたチームワークです。そのため、私たちの新しいカリキュラムでは、入学から卒業まで、仲間や先輩とともに様々な課題にチャレンジできる機会を豊富に用意しています。目標に向けて切磋琢磨する仲間によって構成されたチームの力は、皆さんを支え、勇気づけてくれます。

POINT
3



POINT
4



POINT
5



新時代に対応できる 実践力を育成。

岡山大学教育学部は、全国の教員養成大学に先駆けて4つの附属学校園における実習を核とした教員養成カリキュラムを体系化し、実践力の育成に取り組んできました。今、その伝統に甘んじることなく、カリキュラムを一新し、新時代のSociety5.0に対応でき、子どもの学びをつくる教育実践力をもった教員の養成に向けて一歩を踏み出しました。

総合大学としての誇り。 意思を磨く多様性。

10学部1プログラムを抱える総合大学であり、世界50か国に同窓会組織を持つ岡山大学には、様々な専門家や、様々な国や地域の方との出会いがあります。また、岡山市の中心部に位置し、一步大学の外に出れば、地域の様々な方と触れ合うことができます。そのような環境で自分の可能性を切り拓き、教育の力で未来を創造できる先生を目指しませんか。

「おもしろい」でつくる 先端教育領域。

持続可能な世界の構築に真正面から取り組む「ESD・SDGs教育」、ICTを活用して感性に基づいた創造性の育成に取り組む「創造性・STEAM教育」、そして子どもたちを正しく理解するための手法とその応用に取り組む「心理データ支援教育」という、三つのプログラムが新設されました。



詳しくはこちら



安永 和央

〈教育心理学〉

教育心理学は、人の感情や性格、能力といった目に見えないものを科学的に解き明かす学問です。この目に見えない心理的なものを質問紙(アンケート)

やテストで測定し、その結果に基づいて検証します。重要なのは、それらを「正しく測定」し、測定したデータを「正しく分析」することです。この厳格なプロセスから科学的な根拠が得られ、困難に直面している人々への支援や効果的な学習方法の提案、教育現場の課題解決が可能になります。岡山大学教育学部では、こうした科学的、実践的な専門性を身につけることができます。社会問題の解決に教育心理学の視点から挑戦したい皆さんは、ぜひ岡山大学で私たちと一緒に、根拠に基づいた「こころ」の探究を始めましょう!

撮影：岡山大学学術研究院教育学域 助教 田邊 彰洋



森 千晴

〈家庭科教育〉

家庭科の目標は、子どもたちに「よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を育成する」ことです。皆さんにとって「よりよい生活」とはどのようなものなのでしょうか?美味しいものを食べられる生活でしょうか?好きな服を購入して着られる生活でしょうか?人によって「よりよい生活」の形は様々です。家庭科では、家族・家庭生活、衣食住生活、消費生活・環境の学習を通して、自己と他者の価値観や考え方の違いを知り、生活の枠組みを広げ、子どもたち一人一人が自分自身の「よりよい生活」を探究していきます。人間の生涯にわたって必要な資質・能力を子どもたちに育むために、「よりよい」家庭科の授業と一緒に考えてみませんか?

撮影：岡山大学写真部 酒井(教育学部), 木下(工学部), 奥(農学部)



池田 匡史

〈国語科教育〉

「ことばの力」とは何か、それを高める役割をもつ国語科とは何かを300字で語るのには難しい。例えばことばは、人間の認識・思考に影響を与えられます。単語レベルだけでなく、「物語る」という言語行為のレベルでもそうです。それだけに、ことばの力があれば、世の中の特定の考え方を強化するような発信ができたり、すでにある見方に疑義を呈したりと、よりよい社会をつくる人になれるの

でしょう。しかし、それをどう高めるのかは本当に難しい。…これ以外のことばの機能にも意識的になりながら、「ことばの力」とは何か、それをどう高めるのかという難しさに向き合う。それが国語教育です。難しさに向き合う楽しさ、共に味わってみませんか。

撮影：岡山大学写真部 上田(教育学部)

岡山大学教育学部 教育実践力向上カリキュラム

教員養成に向けた特色ある取り組み

教育学部では、令和5年度より新しいカリキュラムがスタートしました。それは、実習（及び事前・事後科目）を機軸として、授業で培った知識や思考力などが運動する、教育実践力向上カリキュラム（スパイラル・モデル）。子ども達と触れ合い、現場の先生方から多くを学ぶ「実習」と、専門的な知識等を学ぶ大学での「授業」が、螺旋状に、合理的に組み込まれ、有機的に結び付けられています。また、「先生になりたい!」という同じ思いを持った仲間と学び合い、支え合いながら、細やかな指導のもと各専攻等で求められる専門性や資質・能力を高めます。

教育実践力向上カリキュラム（小学校）

	1学期	2学期	3学期	4学期
4年生	指導法開発II:授業研究マネジメント		教職実践演習	
	教育実習III:副免実習		教職実践インターンシップ	
3年生	指導法開発I: 教材・単元開発と学習評価		内容開発: 教材・単元開発	
	教育実習II:主免実習(観察+教壇実習)			
2年生	内容構成論I:教材分析		内容構成論II:単元・カリキュラム分析	
	指導法I: 教科の各領域の教材論と指導法		指導法II: 先輩の教育実習の観察・運営	
	教育実習I:先生方の授業観察・分析の実際			
	教育実習基礎演習:授業の観察力・分析力の伸長			
1年生	内容基礎: 教科を構成する 基礎的内容		指導法基礎: 教科の目標、子どもの 実態を踏まえた指導法	
	教職実践入門セミナー: 教師をめざす自らの 学びの方向性を確認		教育実習基礎論: 授業づくりの基礎 授業観察・分析法	

※開講時期など変更となることがあります。

教職支援体制

教員を志望する学生を、3側面から応援する体制をとっています。

1. 教職相談室

教職OBの専任教員(教師教育開発センター教職支援部門)が、教員採用試験情報の提供、個々の学生への個別相談、面接の指導、論作文の書き方等、きめ細かな指導を毎日行っています。

2. 教員採用試験受験に向けた講座・教職ガイダンス

毎年12月から翌年5月にかけて、「教採集中セミナー」、また各県等教育委員会による「教員採用試験説明会」を行っています。また、学部1～3年次生を対象に、それぞれに合わせた内容の「教職ガイダンス」を開催し、次年度以降の教員採用試験に向けた指導を行っています。

3. 教師力養成演習

教職を志望する学生の「教師力」「授業力」「生徒指導力」など、教育実践力を高めることを目的として、現場で活躍しておられる公立学校の先生等の講演会やその講演をおさめたDVDの視聴を通して指導を行っています。

このような教職支援体制で、教員を希望する学生の期待に応えています。



附属機関

岡山大学は、附属幼稚園、附属小学校、附属中学校、附属特別支援学校を併設し、先進的な教育活動・教育研究を充実させる体制を整えています。

また教育実習の企画・運営や教職支援・教職相談、学校支援ボランティア等の学校現場と連携した活動を支援する「教師教育開発センター」が全学センターとして設置されています。



附属小学校



附属中学校



附属幼稚園

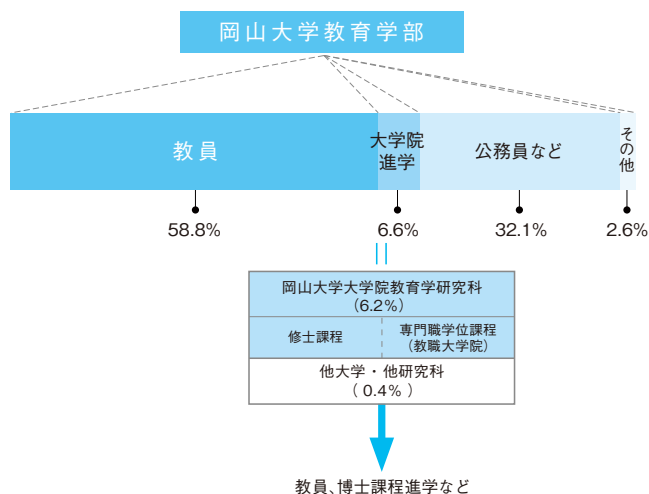


附属特別支援学校

実績ある教員就職と充実した大学院

岡山大学教育学部の卒業生で教員を希望する者のうち、ほとんどが教員に採用(期限付きを含む)されています。「教職相談室」をはじめとする学生支援体制の成果が表れています。

卒業後の進路では、教員への就職の他に、大学院進学や公務員などへ就職しています。岡山大学には、専門職学位課程(教職大学院)と修士課程からなる大学院教育学研究科があり、教育・研究環境が充実しています。大学院で理論と実践を磨いた後に教員になる者も多数います。



●岡山大学教育学部卒業後の進路(令和6年3月卒業生の進路別比率)

注:教員には保育士を含む。

各数値は小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100%にならない場合があります。



岡山大学

学部長からのメッセージ

岡山大学教育学部学部長

西山 修

「一人の子ども、一人の教師、一冊の本、一本のペンが、世界を変えることができる。」
これは、銃撃を受けながらも教育の力を世界に訴え続けたマララ・ユスフザイさん(2014年、17歳でノーベル平和賞受賞)の言葉です。この言葉は、教育が一人の人生を支えるだけでなく、社会や世界の未来を形づくる力をもつことを私たちに示しています。

いま世界は、国や地域を越えて、あまりにも多くの課題を抱えています。その中で、共通の未来像を示す指針として、国連はSDGs(持続可能な開発目標)を掲げています。そして、これらの目標を達成するための基盤的な位置づけが、Goal4「質の高い教育をみんなに」です。

教師という仕事は、このGoal4を最前線で支える仕事です。教室は、単に知識を身につける場ではありません。子どもたちが自分の考えをもち、他者と対話し、多様な価値観を理解しながら生きていく力を育む場です。だからこそ、これからの教師には、学力だけではなく、人や社会、世界とつながる視点と、学び続ける姿勢が求められています。

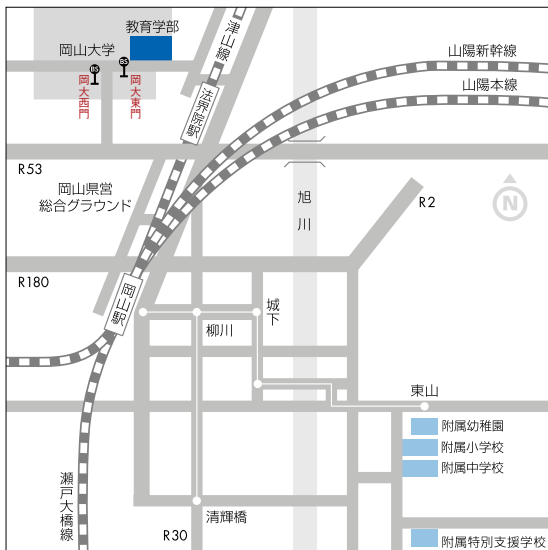
岡山大学教育学部では、教育を受けることの意味、学ぶことの価値、そして教育が社会を変える力であることを、理論と実践の両面から深く学びます。地域に根ざした教育実践を大切にしながら、その学びをこの世界の教育課題と結びつけて考える力を養います。

本学部の学びの特徴に、教育実習を軸とした実践的なカリキュラム(スパイラル・モデル)があります。大学で学んだ理論や教育の理念を、実際の学校現場で試し、振り返り、再び学び直す。この循環を通して、確かな強み専門性をもち、教育の意味を問い続け、質を高めていく教師へと成長していきます。さらに、今後、標準的な学びの場となる教職大学院(専門職学位課程)や修士課程への進学も可能です。教職大学院には、学部卒業後1年での修了を可能にする在学年限短縮プログラムもあります。「学び続

ける」を学部卒業後も支えます。

岡山大学教育学部は、本気で教師になりたい人のための学部です。教育の力を信じ、誰一人取り残さない教育を実現したいと願う人にとって、これほど充実した環境はありません。また、同じ志をもち支え合える仲間や、導いてくれる先輩らと出会えることでしょ。もちろん、私たち教職員も、入学された一人ひとりの歩みを全力で支える実績と十分な準備、そして自信があります。

もしあなたが、教育を通して、自分を成長させたい、人と社会の未来を支えたいと考えているなら、ぜひ岡山大学教育学部を選んでください。「同じ教師だけどちが教師」になろうという意欲をもったあなたを心から歓迎します。



岡山大学HP「入試」にて
最新情報を必ずご確認ください。

<https://www.okayama-u.ac.jp/tp/admission/index.html>



アクセス

JR

岡山駅乗り換え、津山線「法界院」駅下車、徒歩10分

バス

岡山駅運動公園口(西口)から
岡電バス(岡山理科大学)行に乗車、「岡大西門」下車

岡山駅後楽園口(東口)から
岡電バス(御野校前・妙善寺)行又は(榊原病院前・妙善寺)行に乗車、
「岡大東門」下車(本路線は、市内を回るため時間がかかります。)



学 章

岡山大学 教育学部

〒700-8530 岡山市北区津島中三丁目1番1号

お問合せ窓口：岡山大学教育学部教務学生グループ

Tel.086-252-1111(代表) ※内線：7598、7599、7605

編 集：岡山大学教育学部・企画広報委員会

<https://edu.okayama-u.ac.jp/>



QRコード

岡山大学教育学部

検索